

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

R6年度 部会年間計画書

| | | | | | | |
|---|---|-------------|------------|---------------|--|----|
| 部会名： | | 防災部会 | | | | |
| 部会長（氏名・所属先）： | | 誉田氏（ときわ虹の会） | | 副部会長（氏名・所属先）： | | |
| その他事務局員（氏名・所属）： 戸村氏（いわまワークス）、遠藤氏（夢21上星川）、島田氏・早坂氏（きてん）、（区役所）、（区社協）、吉田氏・朝倉氏（基幹） | | | | | | |
| 問合せ先 | 氏名： | 早坂 | | 電話： | 045-333-6964 | |
| | 所属先： | NPO法人 きてん | | メール： | ten10wan1@bz03.plala.or.jp | |
| 構成機関 | 相談支援従事者 | | 就労支援センター | | 発達障害者支援センター | |
| | 障害福祉サービス事業者 | 8 | 医療機関 | | 教育関係機関 | 1 |
| | 民間企業 | | 高齢者介護の関係機関 | | 当事者・当事者団体・家族 | 4 |
| | 権利擁護関係団体・者 | | 大学等 | | 公共職業安定所 | |
| | 保健所・保健センター | | 保育所 | | 児童相談所 | |
| | 身体障害者相談員 | | 知的障害者相談員 | | 民生・児童委員 | |
| | 主任児童委員 | | 地域住民代表 | | 区福祉保健センター | 1 |
| | 基幹相談支援センター | 1 | 生活支援センター | | 地域ケアプラザ | |
| | 社会福祉協議会 | 1 | その他 | 2 | 合計 | 18 |
| 実施概要 | 保土ヶ谷区における自然災害時の障害のある人たちへの支援について、課題や問題点を抽出し、円滑に防災対策が進められるよう準備を整え、あわせて地域での防災意識を高める取り組みをおこなっていく。 | | | | | |
| 年間目標 | ・被災地障害者センター横浜ほどがやの具現に向けて課題の整理・解決、訓練や部会以外の方への周知を行う。 ・災害時に必要な知識について学ぶ機会を設ける。 ・防災訓練の実施への啓発。 | | | | | |
| 月 | 活動内容 | | | | 会議開催日時 | |
| 4月 | ・被災地障害者センター横浜ほどがやの開設に向けての課題の整理 | | | | 活動ホームゆめ 4/10 16:00 | |
| 5月(事務局) | ・被災地障害者センター横浜ほどがやの課題の解決に向けての協議、総会での報告について | | | | 活動ホームゆめ 5/8 16:00 | |
| 6月 | ・新規参加者への部会での取り組みの紹介、被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練実施に向けての課題の整理 ・防災についての情報交換 | | | | 活動ホームゆめ 6/12 16:00 | |
| 7月(事務局) | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備、情報交換 | | | | 活動ホームゆめ 7/10 16:00 | |
| 8月 | | | | | | |
| 9月 | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備 | | | | 活動ホームゆめ 9/11 16:00 | |
| 10月(事務局) | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備 | | | | 活動ホームゆめ 10/9 16:00 | |
| 11月 | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備 ・防災訓練の実施、協力についての協議 | | | | 活動ホームゆめ 11/13 16:00 | |
| 12月 | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の実施 | | | | 活動ホームゆめ 12/11 16:00 | |
| 1月(事務局) | ・被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の振り返り、報告会の実施 | | | | 活動ホームゆめ 1/8 16:00 | |
| 2月 | ・次年度の計画 ・代表、事務局の選任 | | | | 活動ホームゆめ 2/12 16:00 | |
| 3月 | | | | | | |
| 必要予定の予算とその内容 ・被災地障害者センター横浜ほどがやの備品の購入（ヒブスやシミュレーション訓練に必要な物の購入費） | | | | | | |
| その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入お願いします。） ・被災地障害者センター横浜ほどがやの取り組みを区域の事業所に広めていざという時の為に協力事業所を増やして行きたい。 ・障害のある方が活躍出来る防災訓練の実施 | | | | | | |